

第 2 章

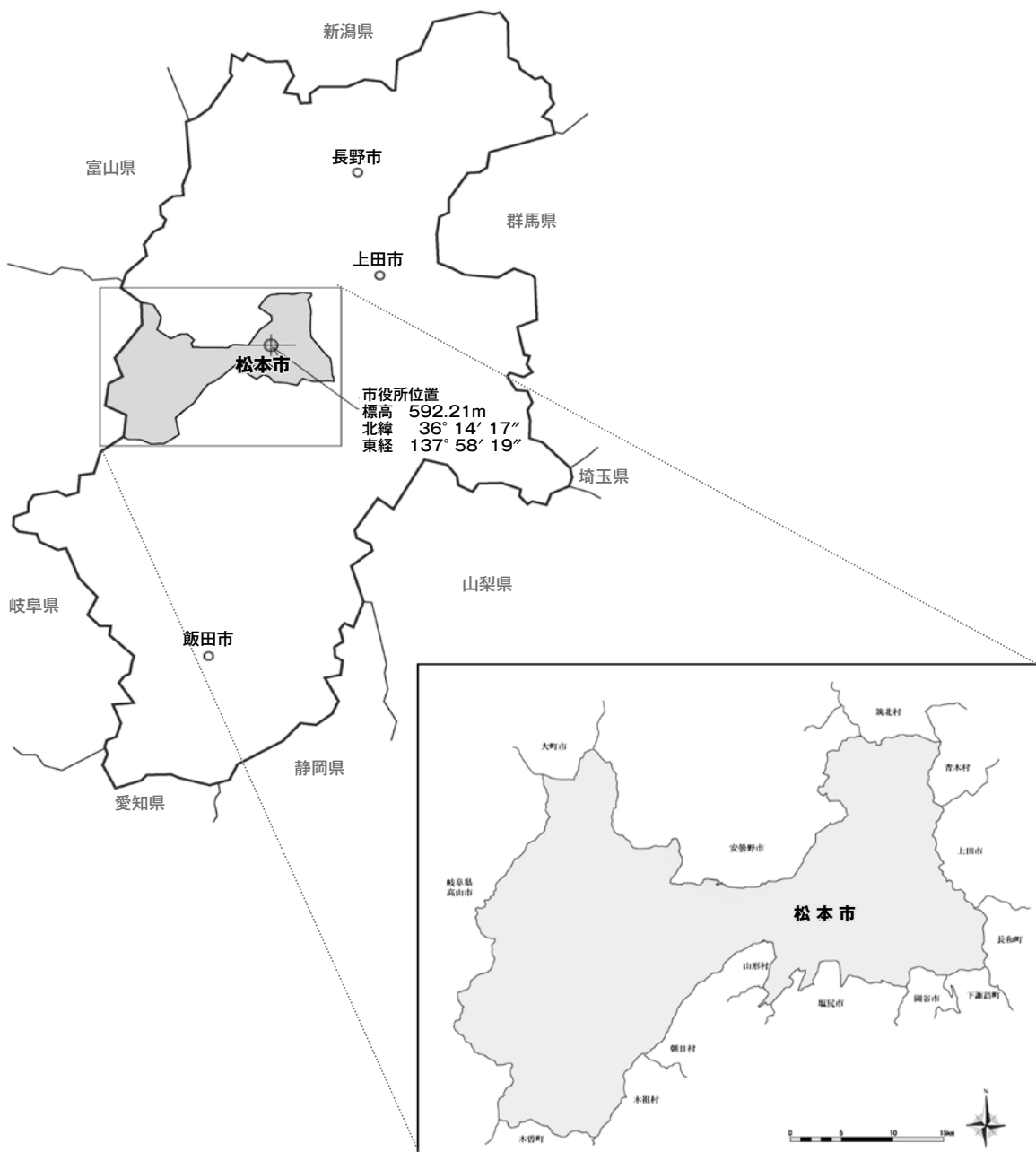
松本市の概要

第2章 松本市の概要

1 位置・面積

本市は、長野県のほぼ中央から西部に位置（市役所：北緯36度14分17秒、東経137度58分19秒）し、北は大町市、安曇野市、東筑摩郡筑北村に、東は上田市、小県郡青木村、長和町に、南は塩尻市、岡谷市、諏訪郡下諏訪町、東筑摩郡朝日村、山形村、木曾郡木曾町、木祖村に、西は岐阜県高山市に接しています。市役所の標高は、592.21メートルです。

市域は、東西52.2キロメートル、南北41.3キロメートル、面積は978.47平方キロメートルで、県内で最も広い面積を有しています。



2 人口

図2-1に示すとおり、本市の人口は平成12年（2000年）の国勢調査までは増加傾向にありましたが、その後はほぼ横ばいとなっています。

また、今後の人口は、図2-2のように減少していくと推計されます。更なる少子高齢化の進行や単身世帯、独居や夫婦の高齢者世帯の増加が進んでいくことが考えられます。

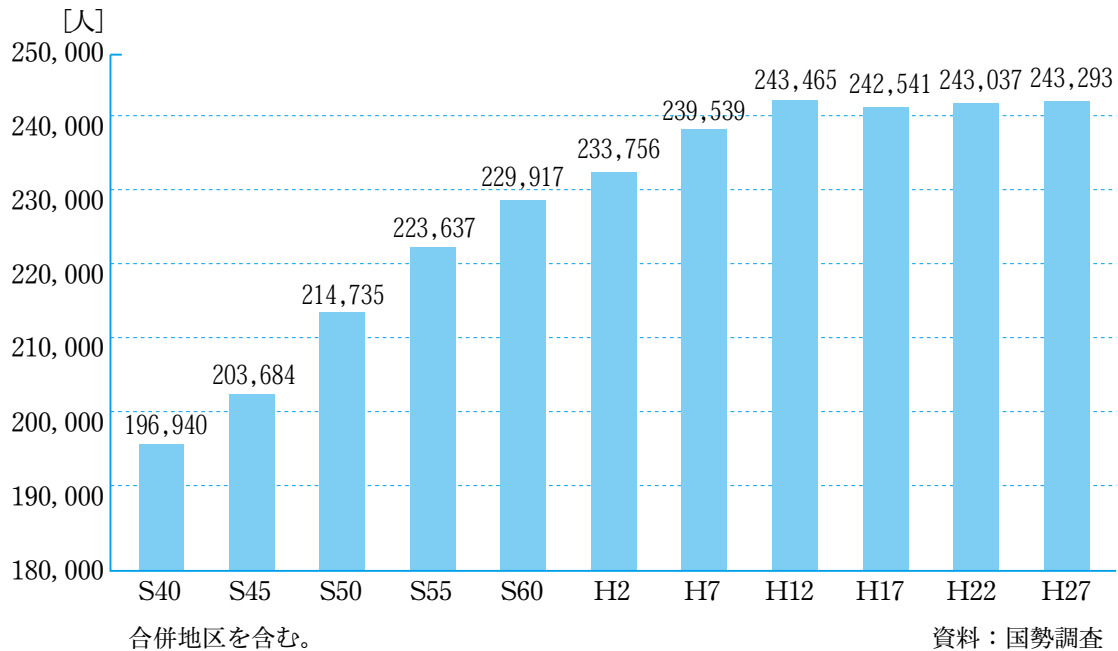
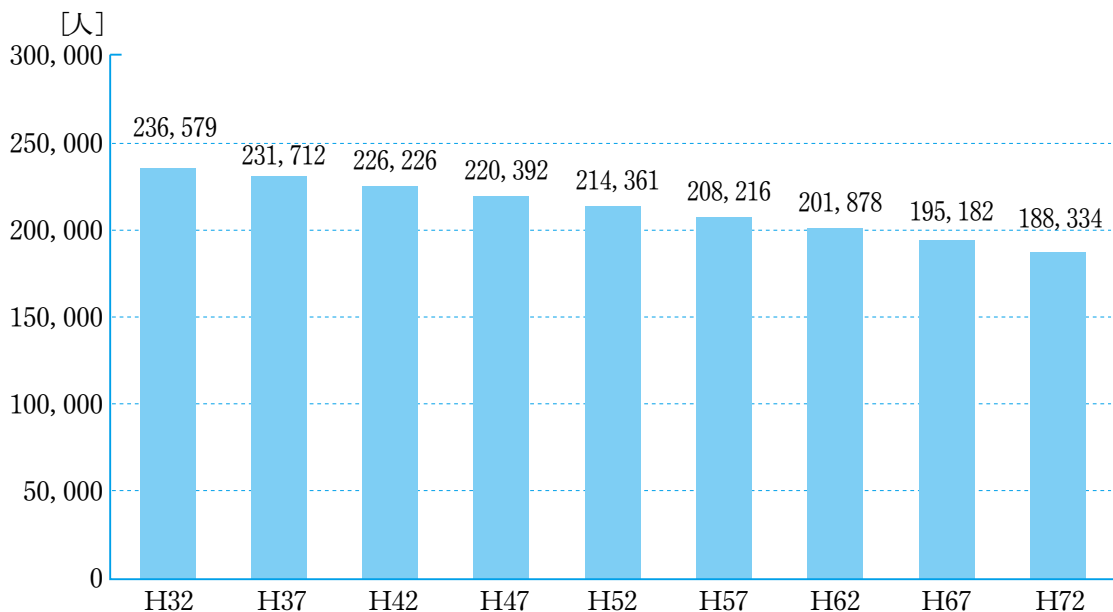


図2-1 本市の人口の推移



資料：超少子高齢型人口減少社会における松本市の人口推計（松本市推計値）

図2-2 今後の本市の人口推計

3 産 業

表2-1に示すとおり、就業者数は、平成7年（1995年）をピークに減少しています。

就業者数を産業部門別にみると、第一次産業6,794人（就業者数の5.8パーセント）、第二次産業28,388人（同24.2パーセント）、第三次産業82,036人（同70.0パーセント）となっています。

図2-3に示すとおり、就業者数の構成割合を平成22年（2010年）と比べると、第一次産業及び第三次産業はそれぞれ0.2ポイント、0.3ポイント低下し、第二次産業は0.5ポイント上昇しました。

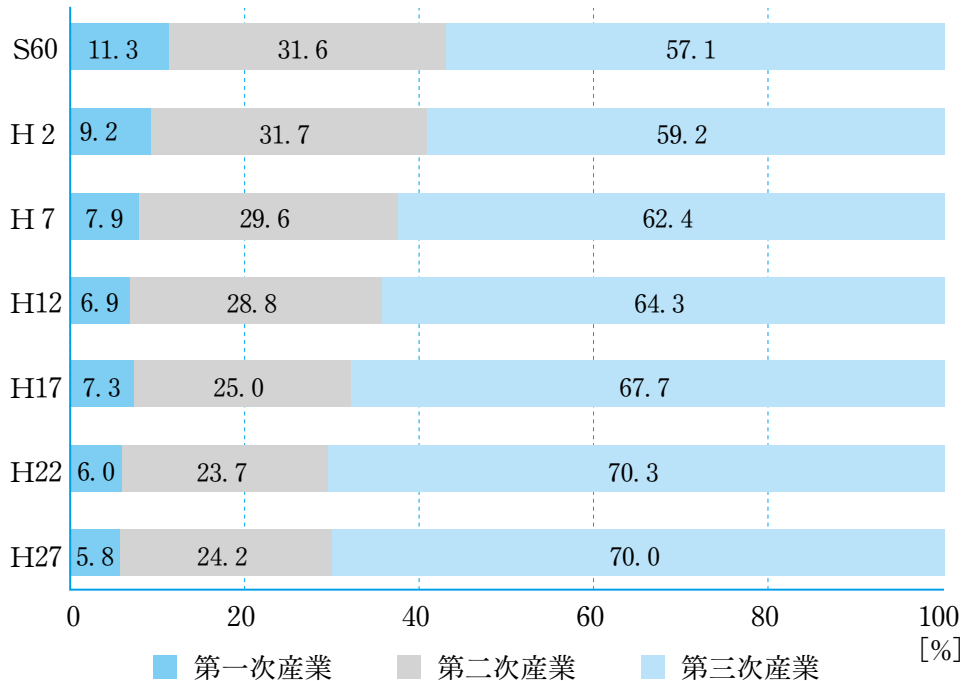
表2-1 産業別就業者数の推移

単位：人

区 分	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
就業人口計	119,582	124,109	130,257	129,867	124,631	119,131	117,218
第一次産業	13,525	11,405	10,342	8,940	9,086	7,191	6,794
第二次産業	37,774	39,292	38,578	37,393	31,126	28,177	28,388
第三次産業	68,283	73,412	81,337	83,534	84,419	83,763	82,036

各年10月1日現在
合併地区を含む。

資料：国勢調査



各年10月1日現在
合併地区を含む。

資料：国勢調査

図2-3 産業別就業者割合の推移

(1) 工業

表2-2に示すとおり、事業所数は平成23年（2011年）以降、減少傾向にあります。

表2-3に示すとおり、従業者数は、減少・増加を繰り返しています。

表2-4に示すとおり、製造品出荷額等は平成22年（2010年）をピークに減少しましたが、近年は増加傾向にあります。

情報、食料及び電子の3分類で、製造品出荷額等の半分を占めています。

表2-2 事業所数の推移

単位：カ所

H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
404	393	411	378	367	349

各年12月31日現在
従業者4人以上の事業所
合併地区を含む。

資料：工業統計調査

表2-3 従業者数の推移

単位：人

H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
14,250	13,684	14,243	12,084	13,434	13,825

各年12月31日現在
従業者4人以上の事業所
合併地区を含む。

資料：工業統計調査

表2-4 製造品出荷額等の推移

単位：万円

区分	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
合計	50,202,009	54,040,694	43,712,314	44,778,126	46,019,505	48,387,158
情報	12,471,886	16,423,577	9,042,276	15,323,647	14,101,828	15,552,201
食料	7,765,164	7,301,229	5,041,807	6,090,677	5,881,691	5,846,640
電子	7,370,823	7,757,549	7,819,197	271,788	3,272,880	3,318,465
その他	22,594,136	22,558,339	21,809,034	23,092,014	22,763,106	23,669,852

各年12月31日現在
従業者4人以上の事業所
合併地区を含む。

資料：工業統計調査

(2) 商業

本市は、「商都松本」と呼ばれ中信地域の基幹都市として、商業が発展してきました。表2-5から表2-7に示すとおり、近年、事業所数、従業者数は減少が続いています。年間商品販売額においても、平成19年（2007年）から平成26年（2014年）にかけて、大幅に減少しています。

表2-5 事業所数の推移

単位：カ所

区分	H14年	H16年	H19年	H26年
合計	4,063	3,848	3,538	2,500
卸売業計	1,223	1,148	1,044	814
小売業計	2,840	2,700	2,494	1,686

各年6月1日現在（H26年のみ7月1日現在）
合併地区を含む。

資料：商業統計調査

表2-6 従業者数の推移

単位：人

区分	H14年	H16年	H19年	H26年
合計	29,914	27,833	26,993	19,539
卸売業計	12,388	11,034	10,170	6,948
小売業計	17,526	16,799	16,823	12,591

各年6月1日現在（H26年のみ7月1日現在）
合併地区を含む。

資料：商業統計調査

表2-7 年間商品販売額の推移

単位：百万円

区分	H14年	H16年	H19年	H26年
合計	1,409,197	1,247,918	1,295,502	892,335
卸売業計	1,085,856	926,257	962,642	609,033
小売業計	323,341	321,661	332,860	283,302

各年6月1日現在（H26年のみ7月1日現在）
合併地区を含む。

資料：商業統計調査

(3) 農 業

表2-8に示すとおり、農業就業者は、平成17年（2005年）から平成27年（2015年）の10年間で約30パーセント減少し、75歳以上の割合は、6.5ポイント増加しています。

また、表2-9や表2-10に示すとおり、耕作放棄地は、平成27年（2015年）には735ヘクタールとなっています。

今後も高齢化の進行による農業就業者の減少が考えられます。

表2-8 農業就業者人口の推移

単位：人

区 分	H17年	H22年	H27年
就業人口合計	9,484	7,798	6,574
75歳以上	2,533	2,503	2,184
75歳以上割合	26.7%	32.1%	33.2%

各年2月1日現在
合併地区を含む。

資料：農林業センサス

表2-9 耕地面積の推移

単位：ha

区 分	H17年	H22年	H27年
計（総耕地面積）	7,133	6,714	6,172
経営耕地面積	6,315	5,924	5,437
耕作放棄地面積	818	790	735

各年2月1日現在
合併地区を含む。

資料：農林業センサス

表2-10 耕作放棄地面積

単位：ha

総 農 家			土地持ち 非農家	総 計
販売農家	自給的農家	計		
142	309	451	284	735

平成27年2月1日現在
合併地区を含む。

資料：農林業センサス

(4) 観 光

表2-11に示すとおり、本市への観光利用者数は、平成24年（2012年）からほぼ横ばいとなっています。

本市の観光資源は、松本城や旧開智学校などの市街地から上高地や美ヶ原高原などの山岳地域まで、幅広い範囲に様々な種類があります。その中でも高原やスキー場、温泉といった恵まれた自然環境を利活用した観光資源が多く、本市の大きな財産となっています。山岳観光都市として発展していくためにも、自然環境に配慮した観光への取組みを今まで同様に進めます。

表2-11 観光利用者数の推移

単位：人

区 分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	
総 計	5,349,962	5,390,615	5,179,543	5,209,055	5,115,958	
旧松本市	国宝松本城	850,662	848,515	879,443	927,055	989,258
	美ヶ原温泉	608,700	561,300	541,000	571,800	554,400
	扉温泉	96,900	106,800	100,500	100,700	101,500
	美ヶ原高原	628,500	596,700	571,100	536,800	453,800
	浅間温泉	638,200	653,700	657,300	663,700	658,000
	美鈴湖	91,500	95,700	77,300	66,400	64,200
四賀地区	福寿草の里	64,300	67,600	39,500	41,300	35,900
奈川地区	奈川温泉	28,600	33,400	34,300	36,300	33,800
	奈川高原	97,300	100,600	90,700	97,400	85,400
安曇地区	上高地	1,373,800	1,384,500	1,277,800	1,236,700	1,232,800
	乗鞍高原	482,200	515,700	492,600	500,700	470,500
	白骨温泉	226,900	261,500	253,900	261,300	244,200
梓川地区	くだものと道祖神の里(梓水苑)	93,200	94,600	93,800	93,800	121,500
波田地区	竜島温泉 せせらぎの湯	69,200	70,000	70,300	75,100	70,700

※旧松本市とは、H17年3月31日以前の松本市のことを指します。

資料：松本市の統計

4 土地利用の状況

本市の地目別土地利用状況は、図2-4のとおりです。山林が約60パーセントを占め、宅地、田、畑はほぼ同じ割合となっています。

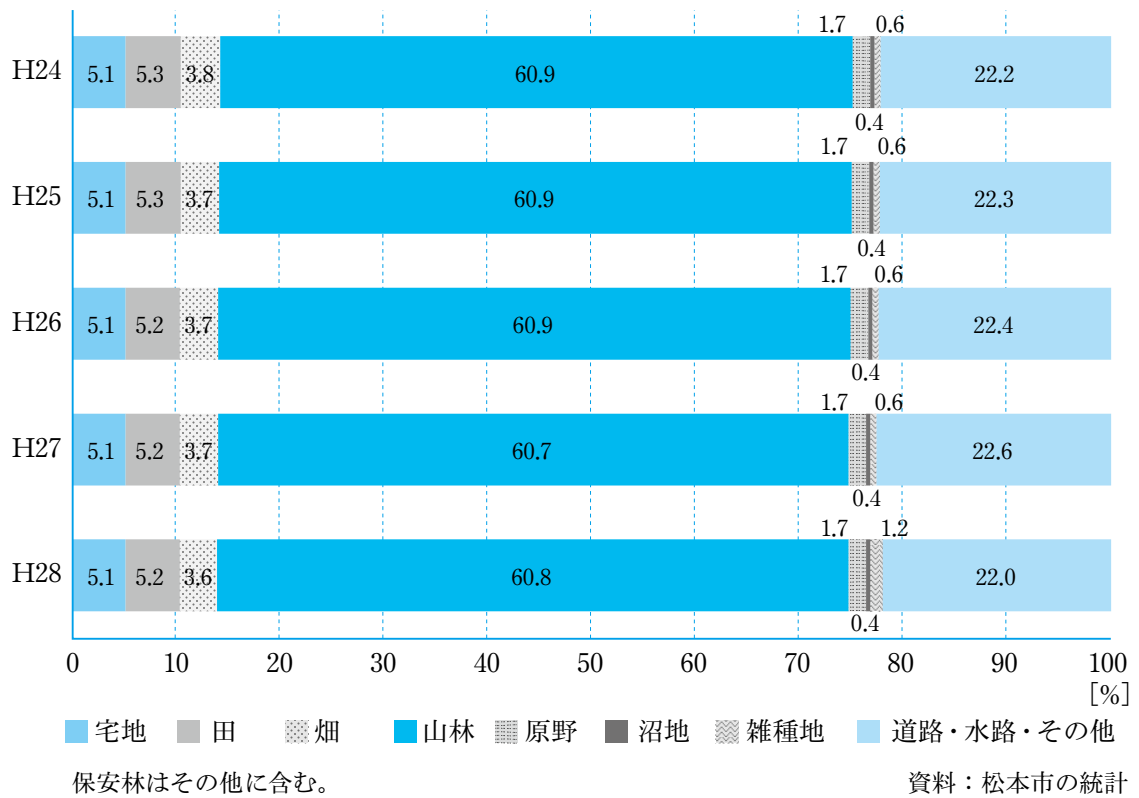


図2-4 地目別土地利用面積



国宝松本城

